

NEW

新発売

# 一体形ポール 溶融亜鉛めっき仕上げ ラインアップ 公共施設用照明器具 2019年度対応

JIL 5004-2016の追補によりポール仕上げが、さび止めから溶融亜鉛めっき仕様に変更になりました。これに伴い、**☒ 適合器具(確認外)**として、一体形ポールの溶融亜鉛めっき仕様のラインアップを追加します。

## ■ 公共施設用照明器具 2019年度対応 追加ラインアップ

☒ 形名	高さ(m)	設置方式	新商品形名
T3.5	3.5	埋込式	PD-35-425W-ZN
T4	4.0		PD-40-425W-ZN
T4.5	4.5		PD-45-525W-ZN
T5	5.0		PD-50-525W-ZN
T5.5	5.5		PD-55-525W-ZN
TB3.5	3.5	ベース式	PD-35-425BW-ZN
TB4	4.0		PD-40-425BW-ZN
TB4.5	4.5		PD-45-525BW-ZN
TB5	5.0		PD-50-525BW-ZN
TB5.5	5.5		PD-55-525BW-ZN

【共通仕様】ポール径φ76.3 セミオーダー ▲

さび止め仕上げの従来品につきましては継続生産いたします。溶融亜鉛めっき仕上げが☒対応商品となります。

## ■ 溶融亜鉛めっきの耐食性

ポールをさびから守る方法として、溶融亜鉛めっきは防食性能に優れ、最も経済的であるとして広い分野で採用されるようになりました。溶融亜鉛めっきの耐食性は環境や使用条件によって大きく変化します。

### ● JIL 5004-2016 塗装仕様(一部抜粋)

用途	材料	前処理※1
ポール※2	鋼材 溶融亜鉛めっき	エッチングプライマ及び さび止めペイント※3

- ※1 前処理においては、各仕様とも脱脂をおこなう。  
 ※2 ポール及びアームは、さび止めペイントまでとする。  
 なお、内面は、塗装などの仕上げは不要とする。  
 ※3 上塗りしない場合は、不要とする。

## ■ ポール表面処理の違い

材質		鋼管(STK400、STKR400)製ポール	
防錆処理		溶融亜鉛めっき仕上げ	さび止め塗装仕上げ
表面処理断面図 (参考)	外面:めっき		さび止め塗装
	内面:めっき		
性能	耐食性	やや優れている	劣る
	光沢保持性	劣る	環境により異なる
	塗装膜強度	—	環境により異なる
使用環境	一般市街地・田園地域など	○	△
	海岸地帯 海岸からの距離:200m~20km	○	お勧めできません
	重工業地域 海岸からの距離:0m~200m	△	お勧めできません
指定色対応可・否		—	—
備考		・めっき素地が美観を損なう ・経済性良	・現場での塗装が必要 ・現場環境により品質は大きく変わる

○:適している △:使用可能

※一部のポールと表面処理との組み合わせにより、対応できない場合があります。